

名前

1. アンモニア 2. 窒素 3. 二酸化炭素 4. 酸素

1. 再結晶 2. ろ過 3. 分留 4. 蒸留

1. どちらの物質も紙によって完全に 取り除かれているため、溶質を含 まない純粋な水である	2. 結晶として析出した物質の飽和水 溶液になっており、かつ析出しな かった方の溶質も含まれている	3. 析出しなかった方の溶質のみが含 まれており、結晶として析出した物 質は一切含まれていない	4. 結晶として析出した物質の飽和水 溶液ではあるが、析出しなかった方 の溶質はろ紙に吸収されている
---	---	---	--

1. 無色から青色に変化する 2. 青色から赤色に変化する 3. 無色から赤色に変化する 4. 黄色から青色に変化する

1. 再結晶 2. 蒸留 3. 狀態變化 4. 過濾

1. 粒子の大きさは変わらないが、粒子の総数は温度とともに増加する

2. 粒子の大きさも粒子の総数も変化しない

3. 粒子の大きさは大きくなるが、粒子の総数は変化しない

4. 粒子の大きさと総数の両方が、状態変化にともなって減少する

1. 单体 2. 混合物 3. 化合物 4. 有機物

1. エタノールの濃度が高くなり、においが強く火を近づけると激しく燃える。

2. 水の濃度が低くなり、特有のにおいが強くなるが火を近づけても燃えない。

3. 水の濃度が高くなり、においがほとんどせず火を近づけても燃えない。

4. エタノールの濃度が低くなり、においが強くなるが火を近づけると激しく燃える。

1. 希釈の前後で、溶液に含まれる溶質の質量が変化しないこと 2. 加える水の質量と、もとの溶液の質量の和が溶質の質量になること 3. 希釈の前後で、溶媒である水の質量が変化しないこと 4. 加える水の質量に関わらず、溶液の密度が一定であること

1. 融解状態で、そのときの質量の値を溶解度という。

1. 12% 2. 22% 3. 18% 4. 8%

1. 7.0g/cm³ 2. 175.0g/cm³ 3. 35.0g/cm³ 4. 5.0g/cm³

1. 水溶液の温度をゆっくり下げる 2. 水溶液にさらに溶媒を加える 3. 水溶液を激しく振り混ぜる 4. 水溶液を加熱して沸騰させる

1. 溶媒が増えると溶質が沈殿しやすくなるため、溶け残りの量が増加する。
2. すでに飽和しているため、溶媒の量が増えても溶け残りの量は変化しない。
3. 水を加えることで水溶液の濃度が一時的に上昇し、溶け残りが結晶化する。
4. 溶媒の量が増えるため、溶け残っていた固体の一部または全部が溶ける。